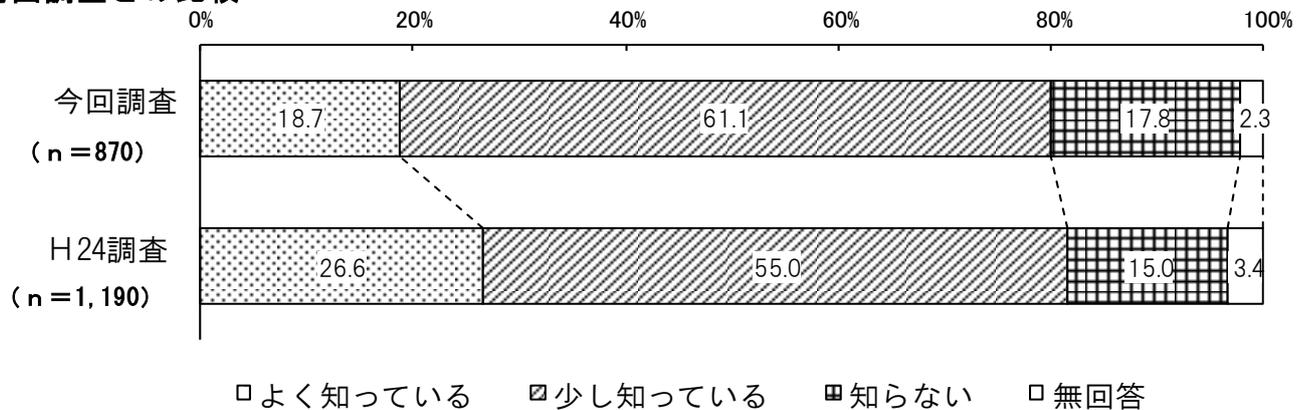


第3節 部落（同和）問題について

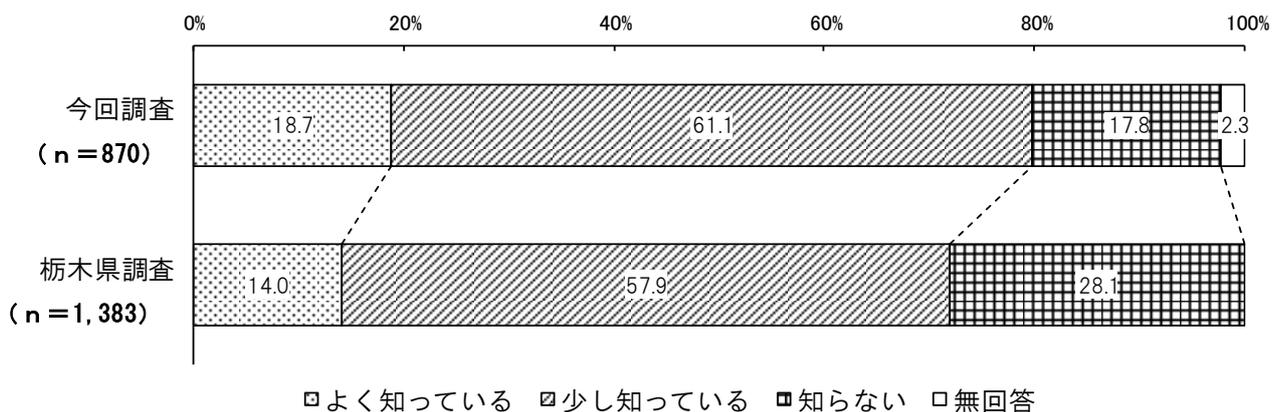
1〔問12〕地区の認知

あなたは、日本社会に「同和地区」「未解放部落」「被差別部落」などと呼ばれ、差別を受けている地区があること、あるいは「同和问题」「部落問題」「部落差別」があることを知っていますか？次の中から1つ選んでください。

前回調査との比較



県調査との比較

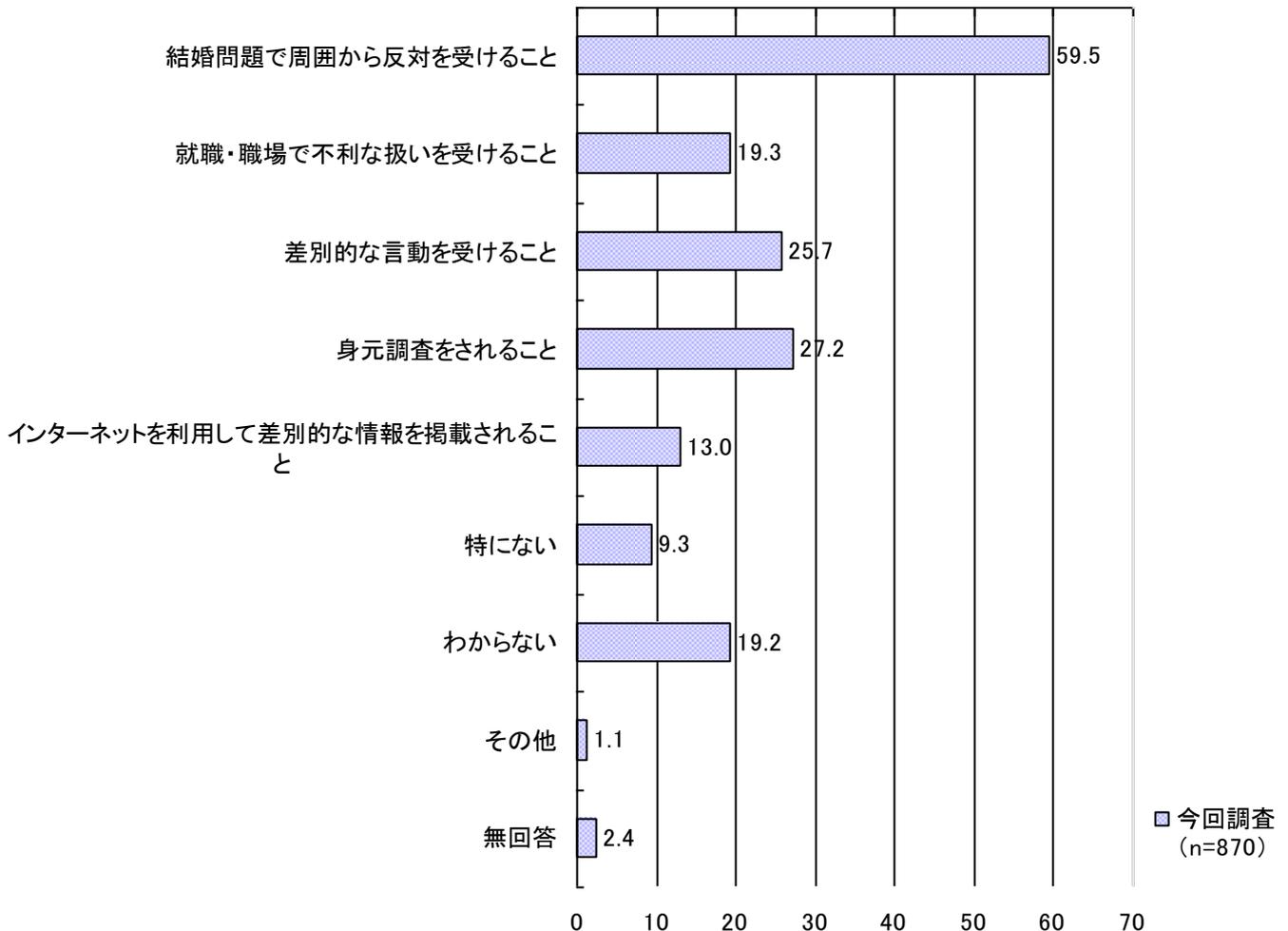


日本社会に「同和地区」「未解放部落」「被差別部落」などと呼ばれ、差別を受けている地区があること、あるいは「同和问题」「部落問題」「部落差別」があることを知っていますかという質問には、「よく知っている」が18.7%、「少し知っている」61.1%とあわせて、認知率（よく知っている・少し知っているの合計）は8割であった。

栃木県調査との比較では、「よく知っている」18.7%に対して県調査が14.0%で、認知率（よく知っている・少し知っているの合計）は県調査71.9%を今回調査79.8%が上回った。

2〔問13〕 同和地区関係者の人権

あなたは、部落（同和）問題に関することがらで、部落差別があると思われるのはどのようなことですか？次の中からいくつでも選んでください。 ※今回のH30調査より実施



部落（同和）問題に関する事柄で、部落差別があると思われるのはどのようなことですかという質問には、「結婚問題で周囲から反対を受けること」が59.5%と、結婚問題が一番多かった。

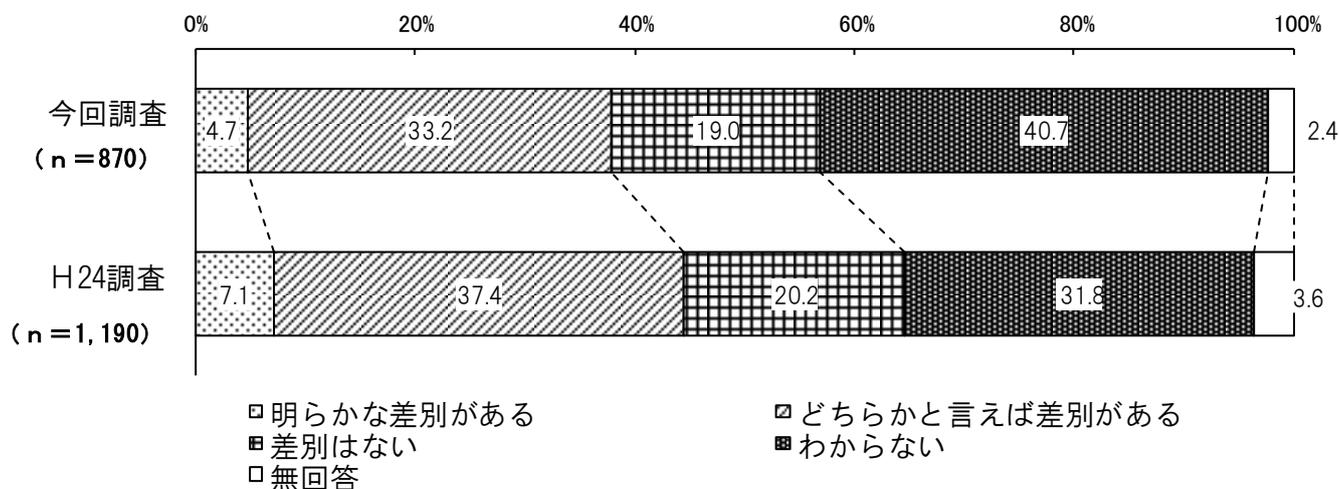
その他の回答

内 容
過去にあったことは知っているが、現在どれくらいおきているのかわからない。
私はサムライの家系ですが、かなり結婚には反対されました。
昔ほど感じなくなりました。佐野市でも新興住宅になってますね。
そのような差別をする人がいる、ということが信じられない。そもそも部落問題とはどういう事かわからない。
現在においては同和的なことはあまり気にするようなことがやわらいできているようですね。
同和地区の方からの迷惑行為を逆に受けていますが、注意できず、がまんしています。
このアンケートのように、いつまでも問われること。
同和教育を行うことで今まで存在を知らなかった人に再認識される。そのことで昔の話が蒸し返される事になり、逆効果。やめるべき。
現在は同和問題はあまり話を聞かない。30年前会社で同和問題の話を聞いたことがある。

3 [問14] 結婚差別の認知

あなたは、現在、結婚に関して部落差別があると思いますか？次の中から1つ選んでください。

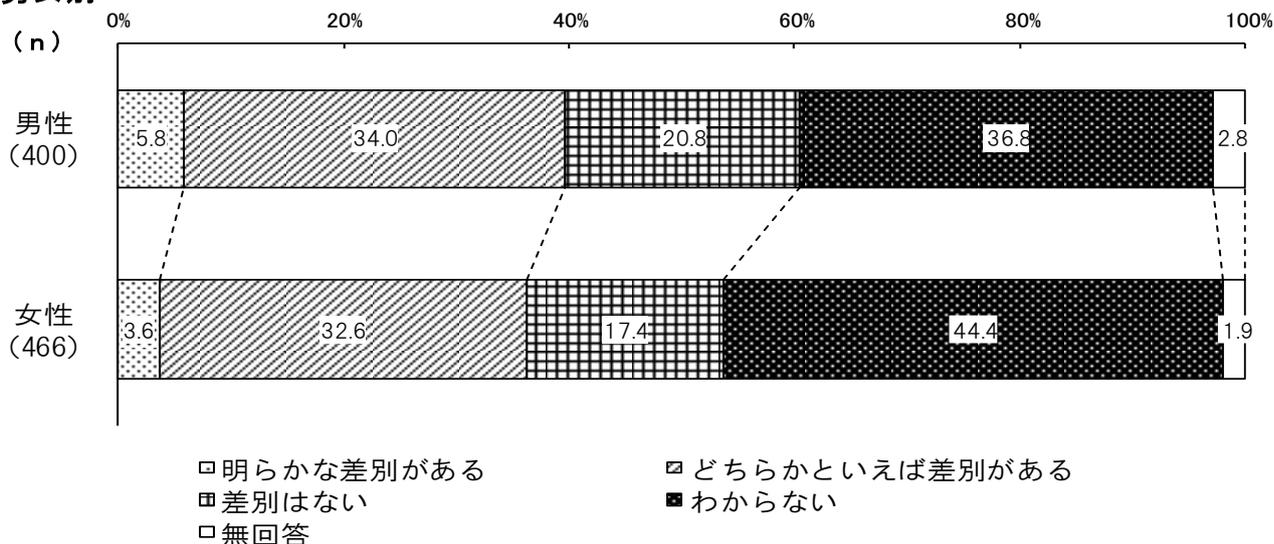
前回調査との比較



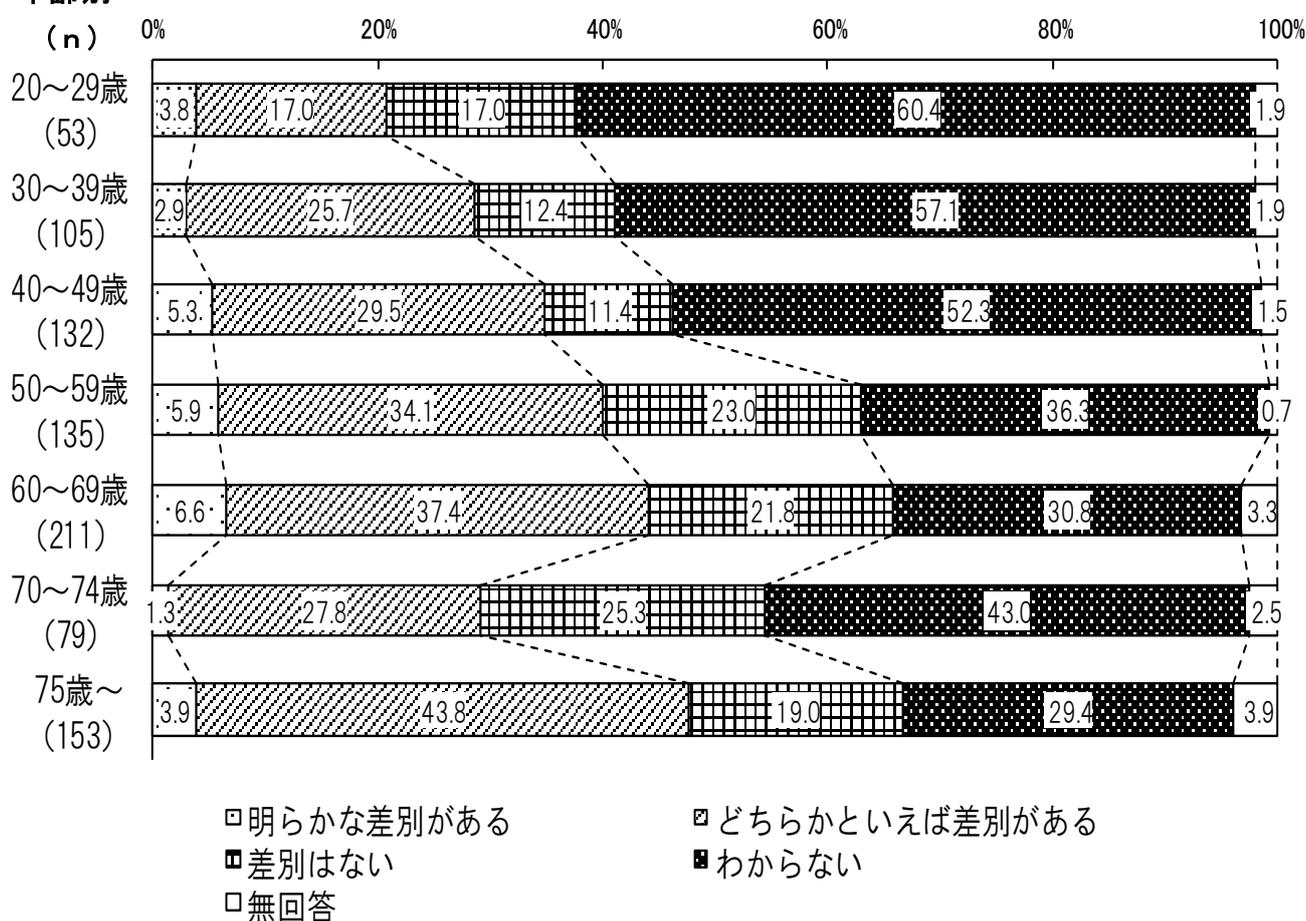
結婚に関して部落差別があると思いますかという質問には、「明显的な差別がある」は4.7%であった。「どちらかと言えば差別がある」が33.2%で、合わせると「差別がある」と37.9%の人が答えた。

前回調査との比較では、「明显的な差別がある」が7.1%、「どちらかと言えば差別がある」が37.4%で、合わせると「差別がある」と44.5%の人が選んでおり、今回との比較は6.6%減となった。

男女別



年齢別



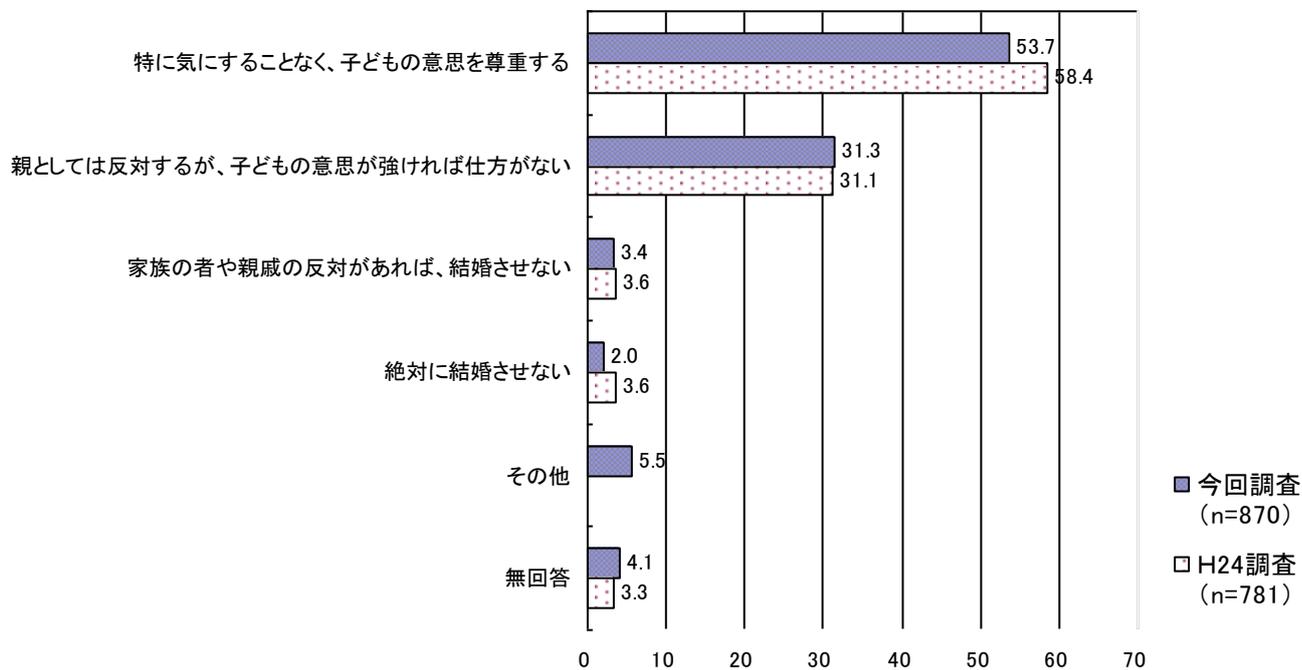
男女別でも「明らかな差別がある」は男性5.8%、女性3.6%であった。「どちらかといえば差別がある」は男性34.0%、女性32.6%であり、合わせると、差別があると答えたのは男性39.8%、女性36.2%で、男性のほうが3.6%多かった。

年齢別では、結婚差別を認識している人は、「明らかな差別がある」と「どちらかといえば差別がある」の合計で、75歳以上が47.7%と最も多く、次いで60～69歳が44.0%であった。逆に年齢が若くなると、「わからない」が20～29歳60.4%、30～39歳が57.1%と半数以上を占めた。

4〔問15〕結婚問題に対する態度

(1) 親の立場でお答えください。 (※H24調査は、既婚の人のみの回答)

仮に、あなたのお子さんの結婚しようとする相手が、同和地区の人であるとわかった場合、あなたはどうしますか？次の中から1つ選んでください。



あなたのお子さんの結婚しようとする相手が、同和地区の人であるとわかった場合、あなたはどうしますかと親の立場として質問したところ、「特に気にすることなく、子どもの意志を尊重する」が53.7%であった。

なお、今回の調査では、「その他」の項目を入れて実施した。

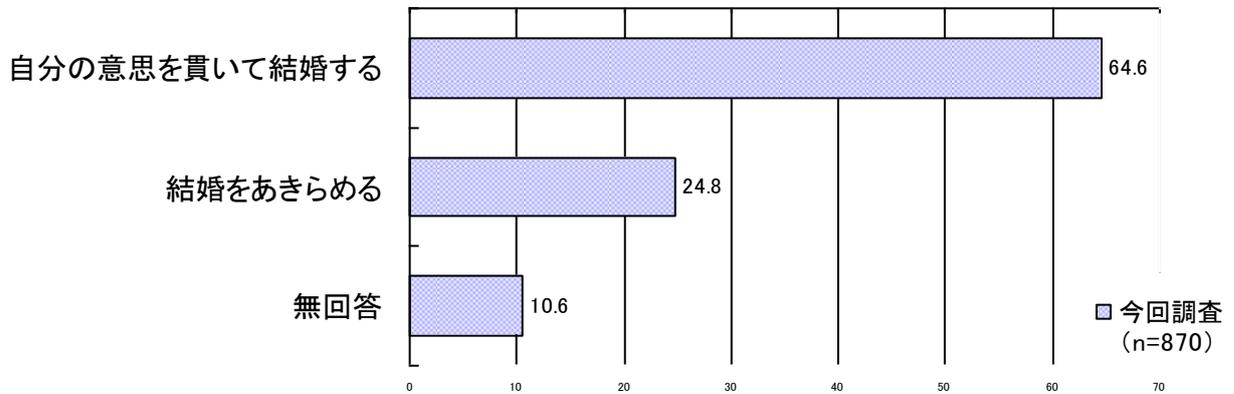
親の立場 その他の回答（設問の番号については、61 ページ問 15 参照）

内 容
子どもが同和地区の人についてわかっていないと思うので、まず、そこから。
同和地区という言葉の意味が分からない。
どれを選ぶか決められない。まずは話し合う。
賛成、反対はなく人や状況を見たい。
根深い問題があるので難しい。（相互の理解度が違うので）
なかなか難しい事でよく分からない。
結婚相手の家族がどのような人なのか性格等、きちんと把握してから結婚しなさいと話す。
その場にならないとわからない
気にはなるが、子どもの意志を尊重する。
3.のような考えが受け継がれているような雰囲気良くないんだと思う。まだ、その立場ではないので答えは出ません。つまり知らずうちに気にしているのかもしれませんが。
子供の意志だけでなく、親も相手に会って、誠実な人であれば結婚させる。
相手の人柄しだい
気になるが子供の意志を尊重する。
子どもが同和問題があるのを知っているかまず確かめる。
子どもと相手の理解を深めた上で意志を尊重してやりたい。
その時にならないと分からない。
自分の目で見て判断する。
話はするが自身にまかせる。
同和問題が、残念ながら存在しているという事実を、子どもとその相手、自分で共有してから結婚させる。

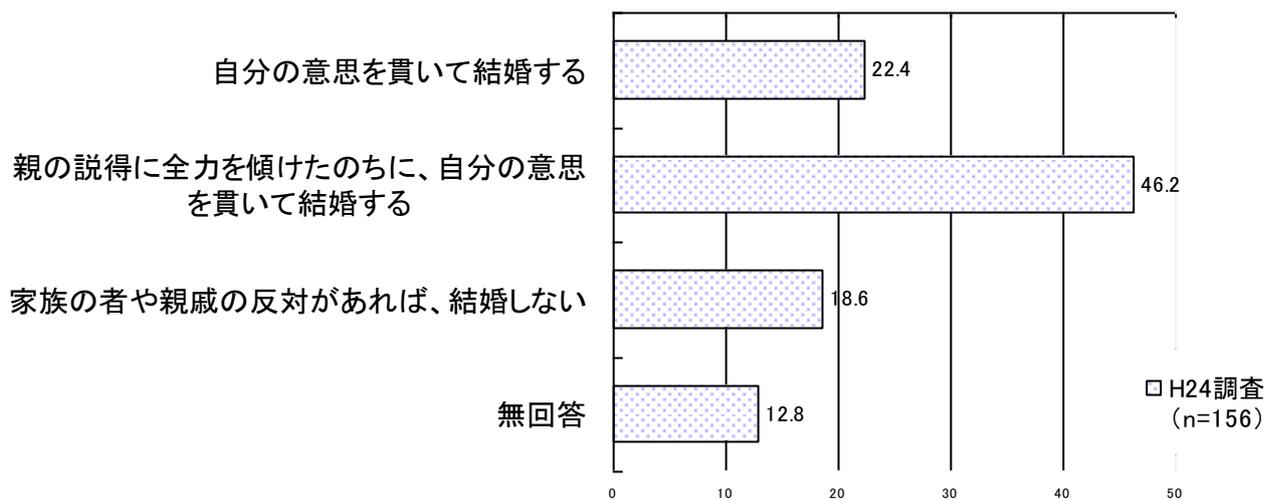
(2) ご自身の立場でお答えください。

仮に、あなたが同和地区の人と恋愛し、結婚しようとしたとき、親や親戚から強い反対を受けたら、あなたはどうしますか？次の中から1つ選んでください。

今回調査



H24調査（未婚の人のみの回答）



あなたが同和地区の人と恋愛し、結婚しようとしたとき、親や親戚から強い反対を受けたら、あなたはどうしますかと本人の意思を質問したところ、「自分の意思を貫いて結婚する」が64.6%と6割を超えた。

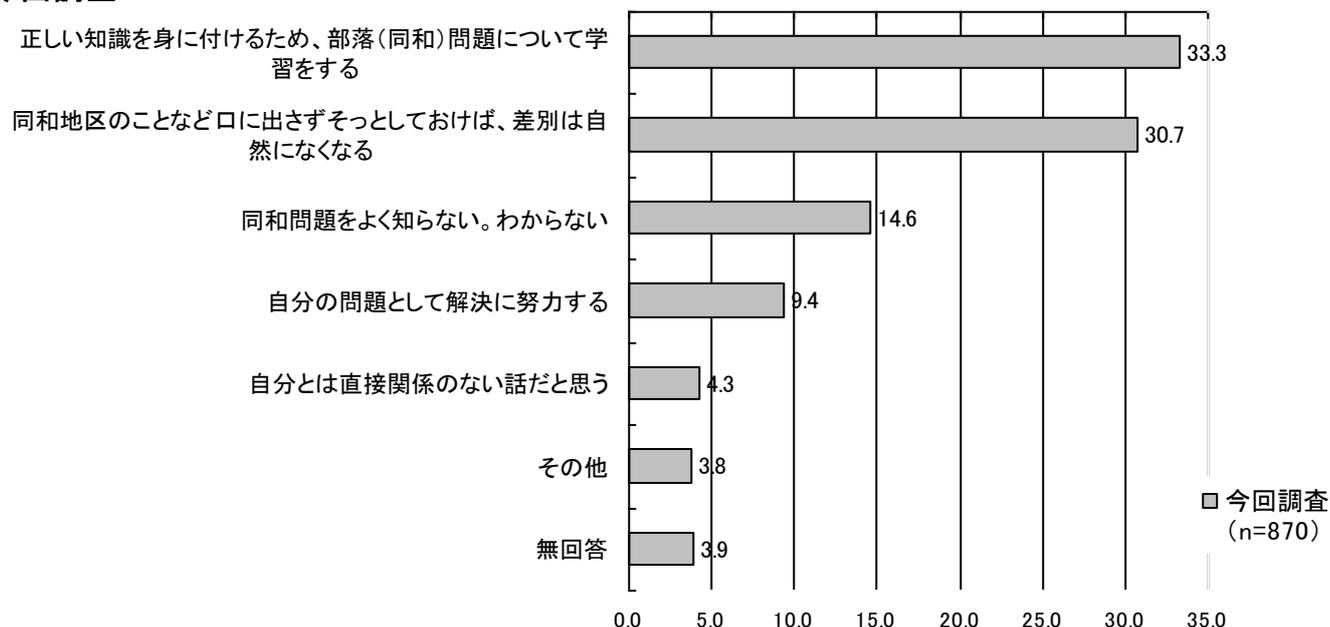
また、H24調査の「自分の意思を貫いて結婚する」22.4%と「親の説得に全力を傾けたのち、自分の意思を貫いて結婚する」46.2%をあわせると、68.6%であり、今回の調査と比較すると、「結婚する」と答えた人は、4%減となった。

なお、※H24調査は未婚の人のみの回答であり、「結婚をあきらめる」は聞いていない。逆に「家族の者や親戚の反対があれば、結婚しない」18.6%は、今回の調査では聞いていない。

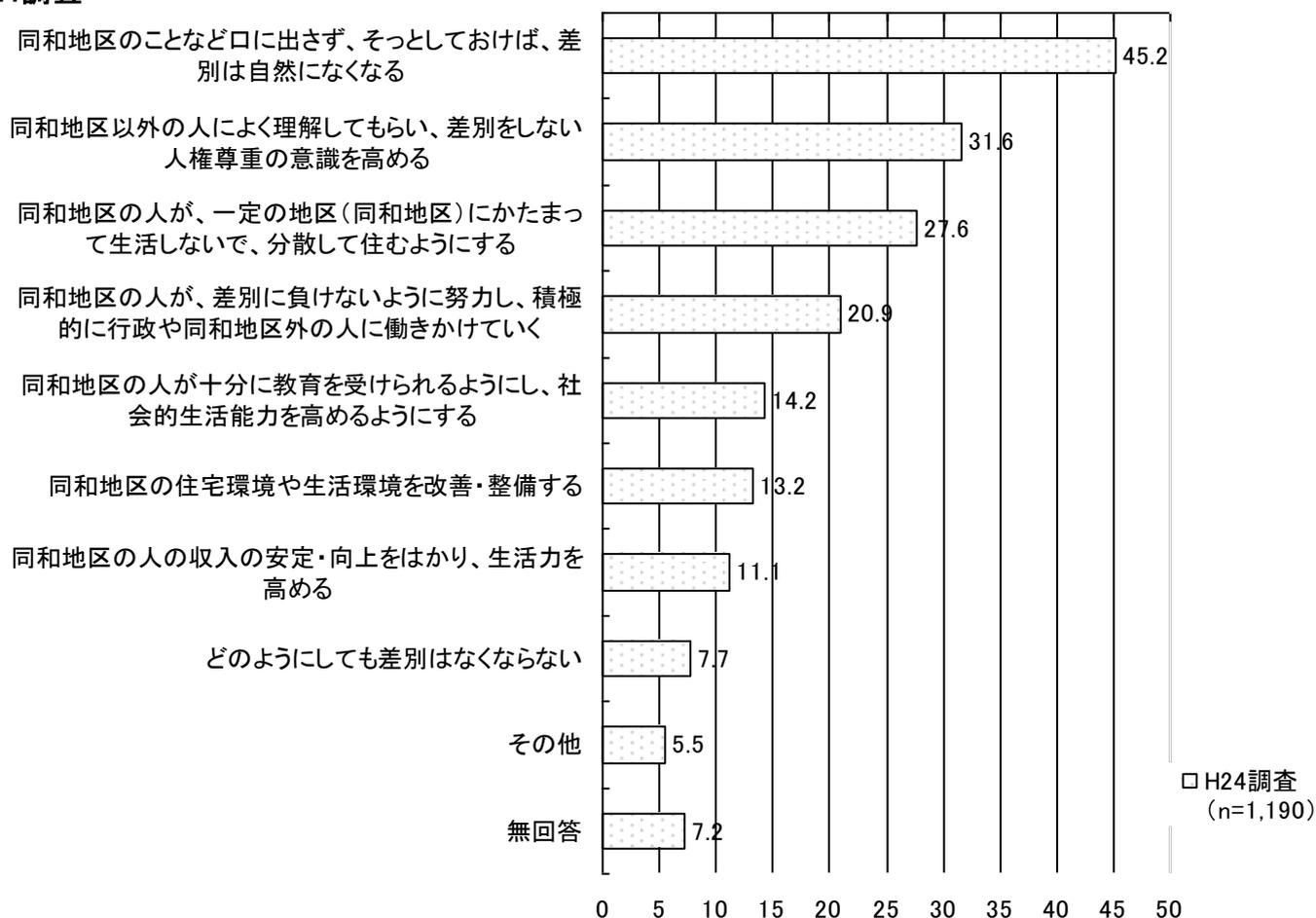
5〔問16〕 部落（同和）問題の解決策

部落（同和）問題を解決するためには、どうしたら良いと思いますか？あなたのお考えに近いものを、次の中から1つ選んでください。

今回調査

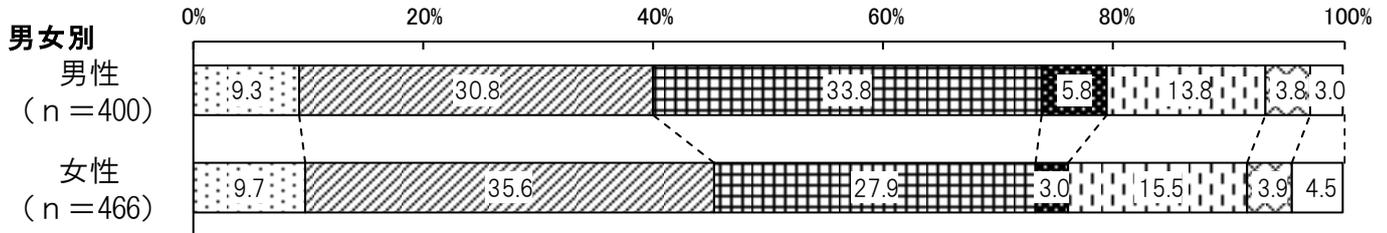


H24調査

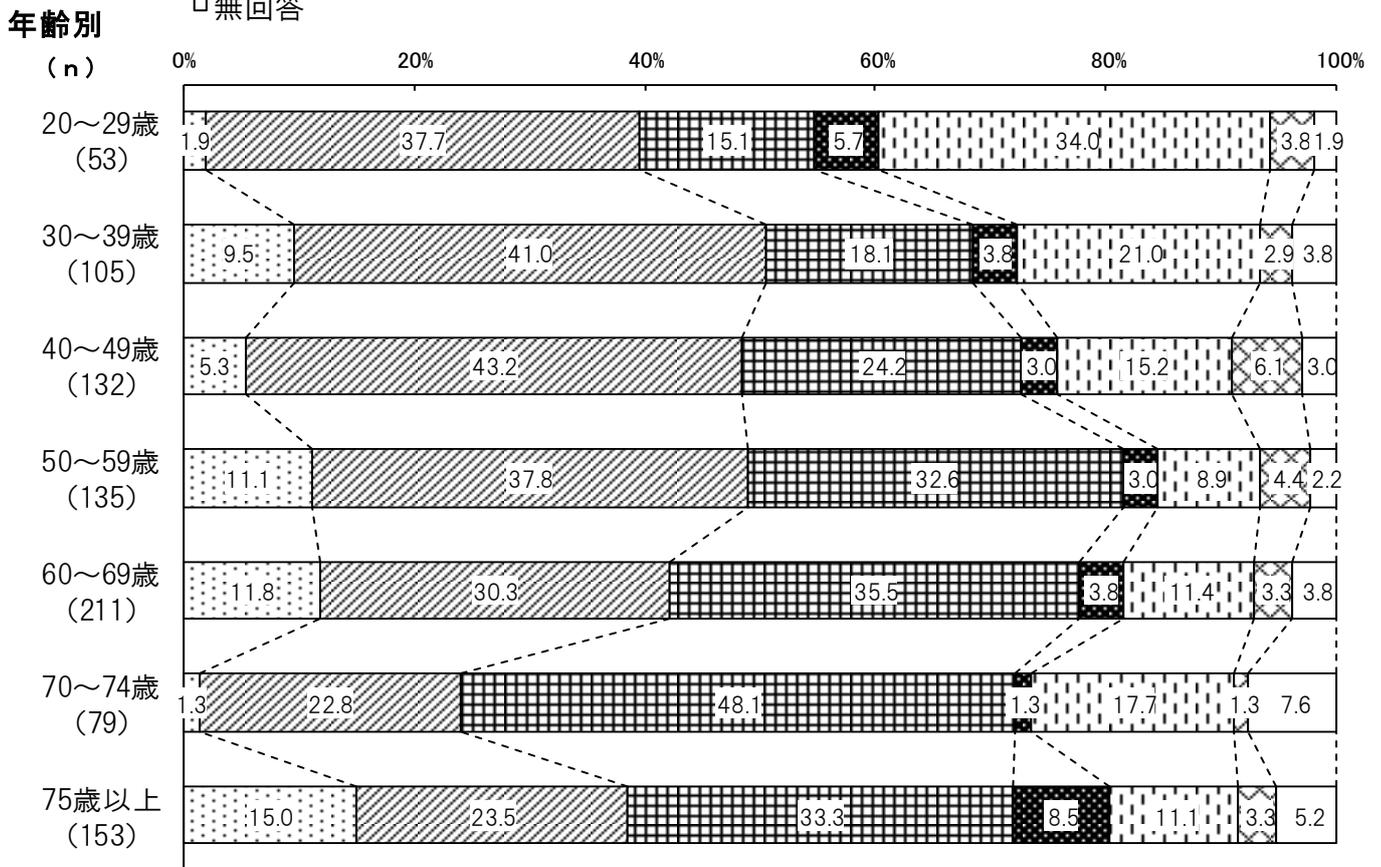


部落（同和）問題を解決するためには、どうしたら良いと思いますかという質問には、「正しい知識を身に付けるため、部落（同和）問題について学習をする」が33.3%であった。

前回との比較では、「同和地区のことなど口に出さずそっとしておけば、差別は自然になくなる」は45.2%に対して、今回30.7%で14.5%減となった。



- 自分の問題として解決に努力する
- 正しい知識を身に付けるため、部落（同和）問題について学習をする
- 同和地区のことなど口に出さずそっとしておけば、差別は自然になくなる
- 自分とは直接関係のない話だと思う
- 同和問題をよく知らない。わからない
- その他
- 無回答



- 自分の問題として解決に努力する
- 正しい知識を身に付けるため、部落（同和）問題について学習をする
- 同和地区のことなど口に出さずそっとしておけば、差別は自然になくなる
- 自分とは直接関係のない話だと思う
- 同和問題をよく知らない。わからない
- その他
- 無回答

男女別では、男性は「同和地区のことなど口に出さずそっとしておけば、差別は自然になくなる」が 33.8%で一番高く、女性は、「正しい知識を身に付けるため、部落（同和）問題について学習をする」が 35.6%で一番であった。

年齢別では、「正しい知識を身に付けるため、部落（同和）問題について学習をする」が、20～29歳 37.7%、30～39歳 41.0%、40～49歳 43.2%、50～59歳 37.8%であった。

その他の回答（設問の番号については、61 ページ問 16 参照）

内 容
自分が考えるよりまわりが考える方が良い。いずれ仲間になるのだから。
難しい問題だと思う。
今の世代の人なら③、高齢者(60代以上)なら②
同和の方の特例を解除すれば少しは変わる。アメリカで黒人差別から白人差別と同じ。
時代の流れに身を任せる(臨機応変に対応)
考えが古いことを分らず。
子供の頃、学校で教わったので知りましたが、教えなければ私達の親世代(70代以上)が亡くなれば、減ると思います。親世代の話を知ると彼らの考えを変えるのは難しいと思う。
ひとりひとりが気にしない事!
個々の受け止め方でどうにでもなるかと思っています。
昔から続く問題だし、その事がプラスになっている部分もあると聞く。そもそもそのようにして居る時点で差別化されてるので、なくなれないと思う。
今の時代、問題にする方がおかしい。
部落問題という問題を挙げている限り、この問題は無くならないと思う。皆、自分同様であるという認識を持てば、問題でなくなる。
真の平等。部落出身を利用している人はいないのか?自動車免許の取得費用無料、保育所無料、税金を安くする等の制度がまだあると聞きます。これは逆差別では?
何も言わなければ良いと思う。このアンケートは差別を強調していると思う。
自身の親が部落出身です。私の時もありました。
同和地区側の意識が変わるべきだと思う。こちらはだれが同和地区の人か知らないで…。
部落の人は反感を持っているので、考え方の相違があり理解しあえるのはむずかしいと思う。それを超えないと解決できないだろう。
自分は同和地区出身らしいが、知らない人は知らない…。こだわっている人がさわぐことが問題かと思う。
世間全体で無かったものとする。
聖書の原則をあてはめる。隣人を自分自身の様に愛しなさい。
近いものが無いので分からない
「同和」という言葉が無くなる様にする(使わない)
教育は受けたが、実際に体験していないので、今も差別されるのか、そういう地域がどこなのかも知らない。
部落差別は、一生なくなれないと思う
あまりまわりが騒ぎたてない。もう話に出さないこと。
自分がいる地区でそのような問題をみたことがない
同和問題の歴史(経緯)を知る(共有)ことから始める。
10代の頃から同和問題が続いていることが分からない。何十年もの問題として扱っていることが分からない。